

事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	「みんなでつくる住みよいまち・白石」の実現を図るため、地域課題を的確に把握し、課題解決の手段としての事業を計画すべく第3次地域づくり計画(令和3年～7年度)を策定する。		
	事業名	第3次地域づくり計画策定	決算額	1,148,282円
②	視点	地域住民同士やSL乗客等他地区住民との交流促進を図るため「SLやまぐち号」の停車駅であるJR山口駅において「やまぐちえき応援おもてなし」イベントを開催する。		
	事業名	やまぐちえき応援イベント (交流促進特別交付金事業)	決算額	425,087円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加していただき、地域の伝統文化に触れる事により、地域住民同士の連帯感や絆を深めると共に地域づくり活動への参加意識の高揚を図る。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	373,638円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①各会員団体等から地域づくり計画策定委員の推薦を得て、令和元年11月8日に第3次地域づくり計画策定委員会を設置した。 策定委員会では地域が抱える課題、問題等を的確に把握するため令和2年3月に白石地区在住の2,000人(18歳以上無作為抽出)を対象に住民アンケート調査を実施したところ、764件の回答があり、その集計結果・内容のクロス集計や自由意見等を精査し、そこから見えてきた優先的に解決すべき地域課題を7項目選定し、それらを解決する手段として15の具体的な個別事業の取組方針等について実施団体等と協議を行い、今般第3次地域づくり5ヵ年計画を策定した。 今後については、適宜、本計画におけるPDCAを行い基本理念である「みんなでつくる住みよいまち・白石」の実現を図る。	◎
②今年度はJR山口駅管理者(JR西日本)から新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、イベント中止通知があったことから、3密を避けた山口駅構内待合室で「白石ご当地自慢写真展」・観光ボランティア「てくてくウォーキング」・「JR山口駅ロータリーの清掃」を実施した。 今後も継続して、おもてなしイベントの実施や「白石ご当地自慢写真展」の開催、駅カフェの開設に加え、新たに「クリスマスは山口から」をテーマに駅通り商店街と連携したイベントを開催するなど、白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。 なお、イベント開催時における「駅カフェ」の運営を充実し、地区住民同士や他地区住民交流の場として積極的に活用する。	△
③【ほたるまつり】【祇園祭】【山口七夕ちょうちんまつり】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 コロナ禍の中、8月7日に子ども会育成会が主体となって、親子ミニちょうちんまつり(願事短冊の飾付)を開催した。 親子合わせて76名、育成会6名、子ども会スタッフ3名、ちょうちん部隊14名、設営スタッフ25名、総勢124名の参加があった。 参加者、スタッフ全員が検温・消毒をするなど、感染防止を徹底したことから、新規感染者の発生もなく無事に終了した。 前日にリーダー会議を行い、最終確認をし、準備、お祭り、片付けまでスムーズにできた。 今後については、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加してもらえるような、より楽しい企画を検討し、実施する。	△

4 総括

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から止む無く、地域課題解決の手段としての事業を中止または縮小せざるを得なかった。
今後については第3次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(C)、改善する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5, 167, 194円
事務局の 運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:1名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 独自開発した会計管理システムの運用により、適正な資金管理(財務会計業務)ができた。</p> <p>(今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域づくり活動参加促進
事業費	168, 000円
事業概要	<p>(実施内容) 地域課題の解決に向けて、専門部会、実行委員会等運営態勢を構築する。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 121人</p> <p>(成果) 各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れた。</p> <p>(評価) 今年度における専門部会の出席率が89%となり、昨年(88%)と比較して1%向上した。 また、参加人数が121名となり、昨年と比較して5名(4.1%)増加した。</p> <p>(今後に向けて) 地域の将来像や地域課題解決のための事業を地域住民が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。 また、地域づくりに関わる啓発研修会や自由な意見交換会等を開催するなど啓発活動に取り組む。</p>

事業名	広報事業
事業費	1, 222, 650円
事業概要	<p>(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営、フェイスブック投稿</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 2人</p> <p>(成果) 広報誌全戸配布12回、ウェブサイト更新12回、フェイスブック投稿7回</p> <p>(評価) 広報誌を毎月発行、HPを適宜更新、フェイスブックを活用するなど、各事業の開催案内・結果報告等掲載し、活動状況の周知が図れた。</p> <p>(今後に向けて) 次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、ホームページの適宜更新し、情報発信チャンネルを強化する。とりわけ、フェイスブックについては情報提供回数を増やし、とりわけ現役世代の若い人たちへ地域づくり活動状況をタイムリーに発信する。 また、若い世代を中心とした広報委員会の創設を目指す。</p>

事業名	「やまぐちえき」応援イベント(交流促進特別交付金事業)
事業費	425, 087円
事業概要	<p>(実施内容) JR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング活動を開催した。 今年度は新たにJR山口駅構内待合室で3週間写真展を開催した。</p> <p>(実施時期) 令和2年9月、10月</p> <p>(参加人数) 14人(実行委員会メンバー)</p> <p>(成果)JR山口駅構内待合室で「白石ご当地自慢写真展」を開催し、駅利用者や近隣住民の皆さんへ白石地域の魅力を発信した。</p> <p>(評価)山口駅構内待合室における「白石ご当地自慢写真展」では主に山口駅利用客等他地区住民の皆さんへ「ちょうちん祭り」、「山口祇園祭」等伝統文化や明治維新に関わる名所旧所など白石地区および近隣地域の魅力を発信することができた。 観光ボランティア「てくてくウォーキング」では白石歴史探訪の会とコラボ開催し、参加者と交流を深めることができた。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続して、おもてなしイベントの実施や「白石ご当地自慢写真展」の開催、駅カフェの開設に加え、新たに「クリスマスは山口から」をテーマに駅通り商店街と連携したイベントを開催するなど、白石地区および近隣地域の魅力を発信する本事業を深化させ、地域内はもとより他地域交流の礎としたい。 6・10月の観光ボランティアについては、来年度も白石歴史探訪の会とコラボして実施する。</p>

事業名	白石フェスティバル開催支援(プロジェクト事業)
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から中止となった。

事業名	白石地区町内親睦大運動会開催支援(プロジェクト事業)
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から中止となった。

事業名	町内会親睦活動支援
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から申請がなかった。

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	373, 638円
事業概要	<p>(実施内容)今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、【ほたるまつり】、【祇園祭】、【ちょうちんまつり】が中止となった。 8月7日に子ども育成会を中心に、親子ミニちょうちん祭りを白石地域交流センターで実施した。</p> <p>(実施時期) 令和2年8月7日</p> <p>(参加人数) 124人(スタッフ延人数)</p> <p>(成果)参加者、スタッフ全員が検温・消毒をするなど、感染防止を徹底したところから、新規感染者の発生もなく、無事に終了した。</p> <p>(評価)前日にリーダー会議を行い、最終確認をし、準備、お祭り、片付けまで円滑に実施できた。</p> <p>(今後に向けて) 伝統文化活動を通じて、子どもからお年寄りまでの三世代間の交流を促進する。とりわけ、子育て世代を対象とした、親子で参加できる楽しい事業を企画する。</p>

事業名	第3次地域づくり計画策定
事業費	1, 148, 282円
事業概要	<p>(実施内容) 地域が抱える課題、問題等を的確に把握するため令和2年3月に白石地区在住の2, 000人(18歳以上無作為抽出)を対象に住民アンケート調査を実施したところ、764件の回答があり、その集計結果・内容のクロス集計や自由意見等を精査し、第3次地域づくり計画書を策定した。</p> <p>(実施時期) 令和2年4月～令和3年3月</p> <p>(参加人数) 20人(策定委員10人、学識経験者等10人)</p> <p>(成果) 優先的に解決すべき地域課題を7項目選定し、それらを解決する手段として15の具体的な個別事業の取組方針等について実施団体等と協議を行い、第3次地域づくり5ヵ年計画を策定した。</p> <p>(評価) 第3次地域づくり計画書の作成により、地域課題の解決に向けた地域づくり活動活動計画の概要が周知できた。</p> <p>(今後に向けて) 適宜、本計画におけるPDCAを行い、基本理念である「みんなでつくる住みよいまち・白石」の実現を図る。</p>

(3) 地域福祉

事業名	人権啓発活動推進
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症防止対策の観点かつ講師都合により中止となった。

事業名	チャレンジ健康づくり(ノルディックウォーキング事業を含む)
事業費	21, 340円
事業概要	<p>(実施内容) ノルディックウォーキングの普及やウォーキングマップしらいしの活用を推進するため、専門講師の指導による講話やトレーニングを実施。</p> <p>(実施時期) 令和2年11月21日</p> <p>(参加人数) 19人</p> <p>(成果) 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、チャレンジ健康づくり事業を原則中止としたが、ノルディックウォーキング講習会は開催した。</p> <p>(評価) 社会体育部会、地位福祉部会のメンバーがスタッフに加わり、ウォーキング時の随行など運営も円滑に行われた。また参加者全員が検温・消毒を行い、感染防止を徹底した。今回は亀山山頂公園を含むコースを選択し、階段の上り下り時のポールを使い方等、実践的な実地研修を受けることができた。</p> <p>(今後に向けて) 新たに、子育て世代が親子で気軽に参加できるACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)を実施するなど、楽しく参加でき運動に親しむきっかけを作る事業を展開する。</p>

事業名	健康食のおススメ
事業費	17,536円
事業概要	<p>(実施内容) 食育の日に交流センターロビーにおいて、健康食のフードモデルを展示し、来所者にレシピを配布した。減塩食レシピを広報誌へ4回掲載した。</p> <p>(実施時期) 令和2年10月、11月、令和2年1月、2月</p> <p>(参加人数) ー</p> <p>(成果) 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、調理実習は中止となったため、食育の日として、交流センターのフロアでサンプルの展示等啓発活動を行った。</p> <p>(評価) 食育の日におけるサンプルの展示、広報誌へのレシピ掲載により、適正な塩分量の料理や美味しくカルシウムを摂取できる料理を提案し、地区住民の健康増進に役立つことができた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度は、減塩料理、生涯骨太を目指したカルシウムクッキングに加え、郷土料理の調理実習を実施するとともに広報誌に健康食レシピを掲載紹介し、健康に役立つ料理を提案する。</p> <p>また、料理教室の参加者を増加させるため、周知の徹底を図る。</p> <p>更に、子育て世代の方にも安心して料理教室に参加してもらえるよう、託児所を開設し、PRをしていく。</p> <p>より多くの地域住民の「食」に対する意識を高めるため、「チャレンジ健康づくり実行委員会」と協働で、料理教室の開催を検討する。</p>

事業名	グラウンドゴルフ大会開催事業
事業費	63,478円
事業概要	<p>(実施内容) グラウンドゴルフ大会を開催。</p> <p>(実施時期) 令和2年10月、11月、令和2年1月</p> <p>(参加人数) 50人(実行委員会メンバー31人)</p> <p>(成果) 今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為春季大会は中止となったが、秋季、地域づくり協議会会長杯の2大会を開催した。準備、運営はグラウンドゴルフ実行委員会が中心となって実施した。</p> <p>(評価) 各大会の参加者が着実に増加し、目標値を上回る参加者を得ることができた。</p> <p>(今後に向けて) 初心者向けの講習会の開催、三世代交流戦の開催、親子交流戦の開催を検討し、参加の増加に努める。来年度から本事業名を「グラウンドゴルフ参加促進」に改称する。</p>

事業名	むかし遊び
事業費	3,589円
事業概要	<p>(実施内容) 白石小学校と連携して、新入生(1年生)を対象として実施。</p> <p>(実施時期) 12月2日(水)</p> <p>(参加人数) 41人(実行委員会メンバー11人)</p> <p>(成果) 今年度は昨年の参加者に案内ハガキを送付、また声掛けにより民生・児童委員の協力で41名の参加者があった。高齢者と1年生の楽しく充実した交流が図れた。学校側の要望により、かるたは中止となったが、他の種目は例年通り行った。</p> <p>(評価) 福祉部会員、民生児童委員、近隣住民の協力があり、各遊びの責任者となってもらいスムーズに運営できた。全部の種目で遊ぶことができた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も参加者に案内ハガキを送付、声掛けを実施し参加者を募る。種目毎の場所等再度検討し、安全面を考慮する。また種目によっては時間調整が必要になるため、内容を協議していく。</p>

(4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 申請事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実させたい。</p>

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容) —</p> <p>(実施時期) —</p> <p>(参加人数) —</p> <p>(成果) 申請事案がなかった。</p> <p>(評価) —</p> <p>(今後に向けて) 地域内の交通安全を守るために、次年度以降も危険個所に反射鏡等の設置をしていく。</p>

事業名	自主防災組織モデル事業
事業費	417,842円
事業概要	<p>(実施内容) 自主防災勉強会等開催。 山口県自主防災アドバイザー養成研修の受講により新たに認定自主防災士を6名養成する。</p> <p>(実施時期) 令和2年5月～令和3年3月</p> <p>(参加人数) 27名</p> <p>(成果) 今年度新たに6名が認定自主防災士となり、白石地区の認定自主防災士は27名となった。また山口市から米屋町商店会が白石地区3番目の自主防災組織として認定された。 令和3年3月7日(日)に7町内(上清水、中讃井、西門前・新橋、荒高、早間田、米屋町商店会、東白石)が黄色いタスキの安否確認訓練をおこなった。防災イベントは新型コロナウイルスの感染症拡大予防のため、中止となった。</p> <p>(評価) 認定自主防災士の増加や実行委員会を定例開催(毎月1回)するなど運営態勢が充実した。</p> <p>(今後に向けて) 単位町内会を対象として、地区自主防災士による防災講座を開催する。 単位町内会における自主防災組織の認定を支援する。今後5年間で新たに30名の認定自主防災士を育成する。 来年度から本事業名を「自主防災活動参加促進」に改称する。</p>

事業名	夏休み防災訓練キャンプ
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から中止となった。

事業名	安全パトロール事業
事業費	27,376円
事業概要	<p>(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 37人</p> <p>(成果) 児童の通学時における安全確保を目的に学校とボランティアの連携が図られた。</p> <p>(評価) パトロール要員が昨年と比較して増減はしなかったが、協力のおかげで児童の事件事故の被害事案はなかった。</p> <p>(今後に向けて) より安心・安全な町づくりのために、パトロール要員の増員を図っていく必要がある。広報誌等を通じて募集する等再度検討し、誰でも気軽に参加できるような仕組みをつくり、参加人員を拡大していきたい。</p>

(5)環境づくり

事業名	五十鈴川を守る会
事業費	95,024円
事業概要	<p>(実施内容) 五十鈴川における草刈等清掃活動による環境美化・保全活動</p> <p>(実施時期) 令和2年8月30日</p> <p>(参加人数) 303名</p> <p>(成果) 五十鈴川の美化・保全が図れた。</p> <p>(評価) 白小PTA・付属小PTA・白中生徒・近隣住民・市役所の協働による環境美化・保全活動ができた。また、参加人数が昨年と比較して143人増加した。</p> <p>(今後に向けて) 五十鈴川の清掃作業にとどまらず、錦川や一の坂川などの清掃も視野において、環境美化・保全活動の深化・拡大を目指す。 来年度から本事業名を「環境美化・保全活動推進事業」に改称する。</p>

(6)地域個性創出

事業名	お宝写真展
事業費	—
事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から中止となった。

事業名	白石歴史探訪の会
事業費	221, 587円
事業概要	<p>(実施内容) 講演会、広報誌およびHPにコラム掲載。講師(ガイド)による史跡巡りを実施。</p> <p>(実施時期) 令和2年7月～令和3年3月</p> <p>(参加人数) 講演会172人、史跡巡りウォーク56人(延べ人数)</p> <p>(成果) 講演会・広報誌へのコラム掲載・史蹟巡りにより幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。</p> <p>(評価) 講演会・広報誌へのコラム掲載は好評であった。今年度は講演会を6回開催した。史蹟巡りウォークは3回開催し講師によるガイドの下、より深く知ることができた。</p> <p>(今後に向けて) 来年度も、コラム掲載を引き続き実施、幕末維新史跡マップを活用した維新探訪ウォーキングも実施する。 新たに講演会は「祇園祭・ちょうちん祭りの起源(由来)」をテーマにした講演会を実施し、地域の歴史や文化、史跡・名所等に触れる機会を充実させていく。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。